

あおもり漁連

故 植村正治氏 書

甦れ!! 協同組合運動

No.
178



CONTENTS

2024年度通常総会開催	1
本会新役員体制の発足	2
本会二木春美代表理事会長が全漁連理事に就任	3
本県漁青連八戸翼会長が全国漁青連監事に就任	4
2024年度漁協役職員研修会開催	5
第3回ALPS基金事業説明会開催	5
海の事故ゼロキャンペーン活動の展開	6
北海道・青森イカ釣り漁業者情報交換会開催	6
令和6年度「ホタテの日」記念イベント開催	7
成邦商事(株)「FSSC22000」認証取得	8
ほたて供養祭開催／7月末ほたて貝取扱実績	9

2024.9

資源・金融・共済の三本柱推進

2024年度通常総会開催

6月17日、青森県水産ビル7階大会議室において、青森県漁連2024年度通常総会を開催し、2023年度決算、2024年度事業計画等、8議案が上程されました。

開催にあたり、二木会長が次の通り挨拶を述べました。

「第75事業年度 通常総会の開催にあたり一言 ご挨拶を申し上げます。本日、会員の皆様にはご多忙の中、ご出席を頂き誠にありがとうございました。

また、宮下知事を始め、ご来賓の方々には、公私ともにご多忙の中、ご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。

近年の漁業情勢ですが、海洋環境の変化に起因する漁獲不振に加え、国際情勢の不安定化により、燃油・資材価格の高騰等、漁業・漁協経営へ多大な影響が生じ、依然として厳しい状況下におかれています。

本県の状況につきましては、漁船漁業では長期化する主力魚種の漁獲低迷、クロマグロ資源管理に伴う収入の減少など、厳しい漁業経営を余儀なくされています。

ほたて養殖漁業においては、これまで安定的な取扱高を維持してきましたが、近年の種苗不足に加え、記録的な猛暑による大量へい死の影響により、大幅な減産を避けられない危機的な状況にあります。

この様な中、「燃油高騰対策」については、県から燃油セーフティーネット事業掛け金の一部補助を手当ていただいた事や、「ほたて産業の早期再生」にむけた基金造成につきましても、2億円の補助を計上していただいた事など、宮下知事におかれましては、迅速に対応いただき誠に感謝申し上げます。

昨年8月のアルプス処理水放出を機に、中国による輸入停止措置により、ほたてやナマコをはじめとする本県水産物へ多大な影響が生じておりますが、総額1,007億円となる「水産業を守る」政策パッケージの有効活用を推進するとともに、引き続き国への、長期的な漁業者支援について強力に要請して参ります。

漁協の組織再編については、経営規模が年々縮小している現状を踏まえ「新合併基本計画」完遂による組織・経営基盤の強化にむけた動きを加速させて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、当連合会の決算につきましては、会員の皆様のご協力により、総取扱高295億円、経常利益3千8百万円、最終的な当期末処分剰余金では1億1千万円を計上し、ほぼ計画を達成することができました。

また、2024年度の計画については、恒常的な漁獲不振ならびに、ほたての減産等、これまで経験したことのない厳しい経営を強いられるものと思われますが、協同組合の原点に立ち返り、本県水産業の安定と発展に寄与すべく業務に邁進して参りますので、特段のご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



挨拶を述べる二木会長



終わりに、本総会に上程の全議案につきましては、慎重なるご審議を頂き、ご承認賜りますようお願い申し上げるとともに、浜の豊漁と、海上安全、そして救命胴衣100%着用の実現、併せて本日ご参会の皆様のご健勝、ご活躍を御祈念申し上げ、私からの挨拶と致します。本日は誠に有難うございました。」

続いて、来賓を代表して、宮下青森県知事より祝辞があり、その後、三國優野牛漁協組合長を議長に選出し議事に入りました。

議事では、全8議案について審議が行なわれ、いずれも原案通り承認決定されました。



宮下宗一郎知事挨拶



議長を務めた野牛漁協三國組合長

本会新役員体制の発足

2024年6月17日開催の通常総会において欠員のあった監事1名に梶浦武也氏（十三漁協）が選任され以下のとおりの体制となりました。

役 職	氏 名	所 属
代表理事会長	二 木 春 美	横 浜 町 漁 協
副 会 長 理 事	坂 井 幸 人	佐 井 村 漁 協
専 務 理 事	熊 木 正 徳	員 外
理 事	三津谷 廣 明	平 内 町 漁 協
理 事	富 田 重 基	鰯ヶ沢町漁協
理 事	南 谷 雅 人	尻 屋 漁 協
理 事	澤 田 繁 悦	青 森 市 漁 協
理 事	熊 野 稔	三 沢 市 漁 協
代 表 監 事	今 進	川 内 町 漁 協
監 事	尾 崎 幸 弘	八 戸 み な と 漁 協
監 事	梶 浦 武 也(新任)	十 三 漁 協

本会二木春美代表理事会長が全漁連理事に就任

6月20日開催の全漁連通常総会において二木春美代表理事会長(横浜町漁協)が全漁連理事に選任され以下のとおりの体制となりました。

役 職 名	氏 名	所 属
代 表 理 事 会 長	坂 本 雅 信	千葉県漁業協同組合連合会 代表理事会長
代表理事副会長	久保田 正	九州信用漁業協同組合連合会 経営管理委員会会長
副 会 長 理 事	西 川 順之輔	京都府漁業協同組合 代表理事組合長
副 会 長 理 事	阿 部 国 雄	北海道漁業協同組合連合会 代表理事会長
代 表 理 事 専 務	内 田 珠 一	員外
常 務 理 事	三 浦 秀 樹	員外
常 務 理 事	石 川 和 彦	員外
常 務 理 事	木 村 直 人	員外
理 事	深 山 和 彦	北海道信用漁業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	二 木 春 美	青森県漁業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	大 井 誠 治	岩手県漁業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	寺 沢 春 彦	宮城県漁業協同組合 代表理事組合長
理 事	道 井 秀 樹	富山県漁業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	小 林 利 幸	福井県漁業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	山 下 三千男	愛知県漁業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	濱 口 慶 太	三重県漁業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	森 友 信	山口県漁業協同組合 代表理事組合長
理 事	平 井 義 則	愛媛県漁業協同組合 代表理事組合長
理 事	田 村 俊 二	高知県漁業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	西久保 敏	佐賀県有明海漁業協同組合 代表理事組合長
理 事	市 田 恵八朗	鹿児島県漁業協同組合連合会 代表理事会長
代 表 監 事	高 橋 征 人	神奈川県漁業協同組合連合会 代表理事会長
常 任 監 事	岩 山 裕 史	員外
監 事	木 下 吉 雄	和歌山県漁業協同組合連合会 代表理事会長
監 事	米 田 輝 隆	広島県信用漁業協同組合連合会 代表理事会長
監 事	藤 森 隆 美	熊本県漁業協同組合連合会 代表理事会長

本県漁青連八戸翼会長が全国漁青連監事に就任

6月26日開催のJF全国漁青連通常総会において本県漁協青年部連絡協議会八戸翼（平内町漁協）がJF全国漁青連監事に就任し以下のとおりの体制となりました。

役 職 名	都道府県名	所 属	氏 名
会長理事	宮 城 県	宮城県漁業協同組合青年部	阿 部 誠 二
副 会 長	北 海 道	北海道漁協青年部連絡協議会	尾 崎 勇 太
副 会 長	石 川 県	石川県漁業協同組合青壮年部連合会	竹 内 大 生
副 会 長	沖 縄 県	沖縄県漁協青壮年部連絡協議会	金 城 勝
理 事	静 岡 県	静岡県漁業協同組合青壮年部連合会	小 林 大 介
理 事	大 阪 府	大阪府漁業青壮年漁業者連絡協議会	勝 元 一 成
理 事	岡 山 県	岡山県漁協青壮年部連絡協議会	牧 野 誠
理 事	佐 賀 県	佐賀玄海漁協青壮年部	袈裟丸 彰 蔵
監 事	青 森 県	青森県漁協青年部連絡協議会	八 戸 翼
監 事	滋 賀 県	滋賀県漁業協同組合連合青壮年会	横 江 拓 郎
顧 問	鹿 児 島 県	鹿児島県漁協青年部連合会	川 畑 友 和



JF 全国漁青連 新役員(左から2人目、八戸翼会長)

2024年度 漁協役職員研修会開催

漁業者の急激な減少・高齢化、主力魚種の漁獲高低下といった沿岸漁業を取り巻く厳しい環境のもと、漁協組織はこの環境下でいかにして生き延びるか悪戦苦闘しております。組織運営に関する考え方と役員の責務の再確認、また2025年度はJFグループ次期運動方針の初年度となることを踏まえ県内36漁協約150名の役職員を対象に漁協役員研修会を開催しました。

研修内容につきましては、①「JF役員の責務について」と題し、全国監査機構近江委員長、②「海洋環境の激変に立ち向かうJF自己改革の断行(県域における組織協議案)」について、信用組織指導部 徳永信用事業推進室長に講演していただきました。

日時：8月30日(金) 13:00

場所：ウエディングプラザアラスカ 4階 ダイヤモンド

研修：①JF役員の責務について

②海洋環境の激変に立ち向かうJF自己改革の断行
(県域における組織協議案)



JF 全国監査機構 近江委員長



JF 会漁連信用組織指導部 徳永信用事業部長

第3回 ALPS 基金事業説明会開催

2024年5月24日、水産ビルにおいて第3回ALPS基金事業説明会を開催致しました。

今回は(一社)漁業経営安定化推進協会より青木次長を講師としてお招きし、事業を実施した再生委員会に対し状況報告の作成方法、概算払い請求の仕方に加え、共通事務費における変更点への理解醸成を目的とすご説明をいただきました。

説明会には県内42漁協より63名が出席致しました。



説明をする青木次長



海の事故ゼロキャンペーン活動の展開

国民の理解増進を推進するため、海の日月間の時期にあわせ、7月16日から31日まで16日間「海難ゼロへの願い」をスローガンとした官民一体の全国活動として「海の事故ゼロキャンペーン」を展開しております。本年度は青森県海の事故ゼロキャンペーンを推進するにあたり関係機関を参集し、7月16日青森港湾合同庁舎前において出動式を行いました。



青森港湾合同庁舎にて



横浜町漁協にて

<重点事項>

- ・小型船舶などの海難防止
- ・見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
- ・ライフジャケットの常時着用など事故救命策の確保
- ・ふくそう海域などの安全性の確保にあります。



うみ丸くんも参加



むつ市漁協にて

北海道・青森県イカ釣り漁業者情報交換会開催

2024年4月11日、ホテル青森においてコロナ禍により5年ぶりとなる北海道との情報交換会を開催致しました。

北海道イカ協からは佐藤副会長をはじめとする13名、本県からは三國小型いか釣協議会会長をはじめとする28名が出席し相互間の情報共有、燃油・資材高騰やクロマグロ来遊増加に伴う操業中止などの課題の他、水揚げ不振が続くスルメイカ漁の存続に向けて、今後の動向を注視しながら関係機関と連携して要望活動を国などに展開していくことについて協議を行いました。



挨拶をする三國會長



令和6年度「ホタテの日」記念イベント開催



挨拶をする立石会長



ボイルホタテと記念のウチワの無料配布

2024年4月11日、青森ホタテのPRと消費拡大のため、青森県漁連とむつ湾漁業振興会では、平成10年に「六月十八日」を「ホタテの日」と制定し、翌年から記念イベントを開催しております。

開会式では、むつ湾漁業振興会の立石会長より、「コロナの影響によりイベント中止を余儀なくされた事もありましたが、一昨年から感染対策を講ずることで無事再開することができました。陸奥湾のホタテ漁業は、平成22年の高水温による大量へい死は過去最大の被害となりましたが、官民一体となった対策を講じたことで、平成27年には見事100億円産業として復活できました。また、平成28年には254億円という過去最高を記録するとともに、令和に入ってから安定的な水揚げを維持する事ができましたが、昨年、夏の異常気象により平成22年に匹敵する甚大な

高水温被害を受けました。その後は、県や関係各所のご支援を頂きながら「はたて産業の再生」に向け邁進している所でございます。また、昨年の中国の輸入停止措置によって行き場を失ったホタテガイは、皆様の「応援消費」のお力添えにより国内消費量が拡大し商機を脱する事ができました。本日は、日頃から陸奥湾ホタテをご愛用頂いている皆様に感謝の気持ちを込めて、「陸奥湾の美味しいホタテ」を提供させて頂きますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。」と挨拶を述べました。

続いて、平内町の船橋町長、並びに、県水産局の山中局長（種市水産振興課長代読）の祝辞を頂きました。その後、イベントとして来場者先着500名様に対して「ボイルホタテ」と「ホタテの日記念ウチワ」の無料配布が行われました。

また、今回から例年実施していた「ホタテ貝焼無料提供」に代わり、「焼ボイルホタテの無料試食」を先着600名に提供しました。その他、はたて広場にて2,000円以上購入の方を対象



小町娘による和歌披露

とした「活ホタテ 3 kg」を30名様に当たる抽選会に加えて、ステージイベントとして、秋田県湯沢市の「小町娘」による和歌披露、県内を拠点に活躍しているご当地アイドル「アルプスおとめ」のミニライブが行われました。

当日は早朝から大勢の来場者が駆け付け、大盛況で無事にイベントが終了しました。



焼ボイルホタテの無料試食



アルプスおとめもお手伝い



抽選会への長蛇の列

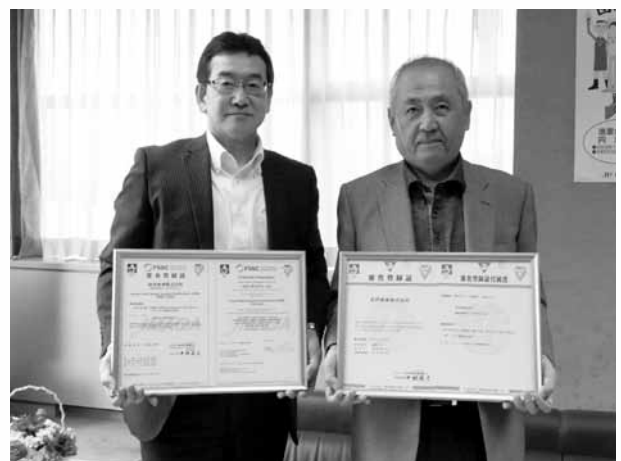
成邦商事(株)「FSSC22000」認証取得

陸奥湾産ホタテの加工などを手掛ける成邦商事(株)（青森市 笹原博社長）が、県内のホタテ加工業者としては初となる、食品安全マネジメントシステムの国際規格「FSSC22000」の認証を取得しました。

FSSC22000とは、Food Safety System Certification 22000の略であり、安全な食べ物を製造するための仕組み作りの認証を言います。

同社では国の補助を活用し、2022年末頃から1年以上かけて認証機関や県などから指導を受けて、衛生基準の管理や企業の事業継続性などが同規格に適合していると評価されました。

笹原社長は、「欧米の外食チェーンや量販店などでは、認証のない加工業者と取引しない場合も多い。更に身を引き締め、安全・安心な製品を世界に発信したい」と意気込みを述べておりました。



左・JF 青森漁連 熊本事務
右・成邦商事 笹原社長

ほたて供養祭開催

令和6年7月1日（金）、平内町「ほたて広場」にて、ほたて供養祭が執り行われました。当日は若干の悪天候が予想されましたが、好天に恵まれ開催されました。開式の儀の後、玉串奉奠を行い、敷地内の「ほたて供養塔」前において、立石政男むつ湾漁業振興会会長、二木春美青森県漁連会長をはじめ、ほたて関係者並びに御来賓の方々約30名が、「ほたて貝」に感謝の祈りを捧げ、閉式の儀となり、無事に神事を執り行う事が出来ました。



祈りを捧げる立石会長

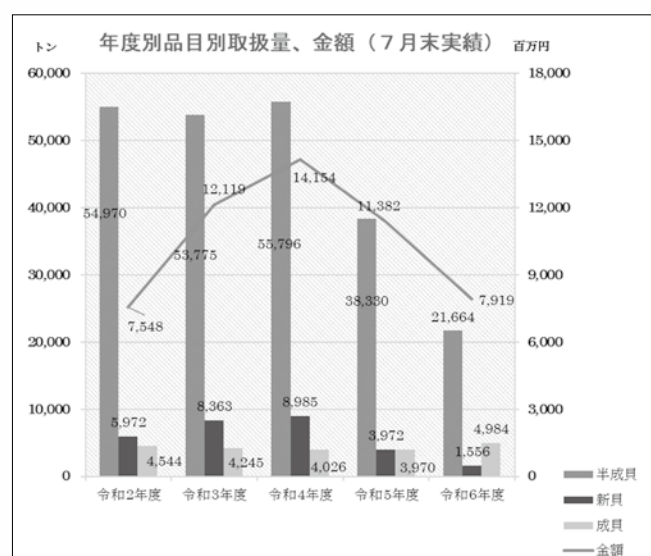
7月末ほたて貝取扱実績

令和6年度7月末取扱実績は、数量28,401 t（前年度比39%減）、金額（税込）79億1千万円（30%減）となりました。

半成貝については、ラーバの採苗不振や高水温によるへい死の影響で昨年より4割近く減産しており、減産の影響から平均単価は245円と、昨年同期の216円を更に上回る高値となりました。

成貝は数量4,984 t（前年度比26%増）である一方、新貝は数量1,556 t（61%減）と前年度から半分以上の減産となりました。

水揚金額については、主要品目である半成貝の水揚が7月末で終了した事から4年連続の水揚金額100億円到達は非常に厳しい状況にあります。



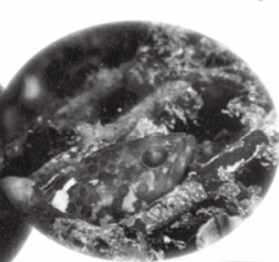
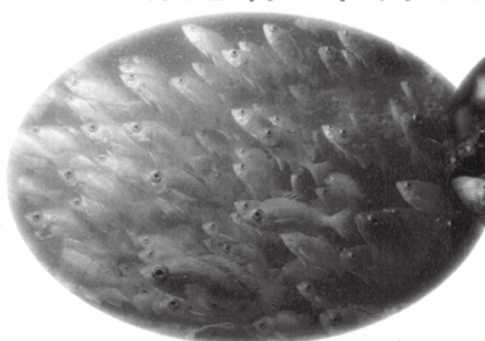
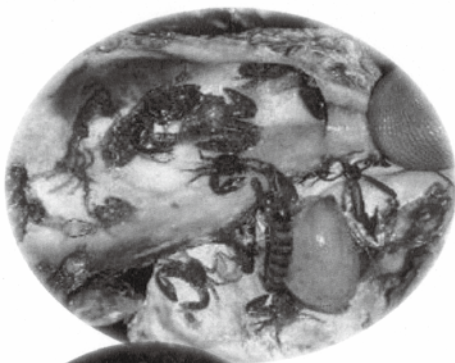
貝殻リサイクル魚礁

JFシェルナース

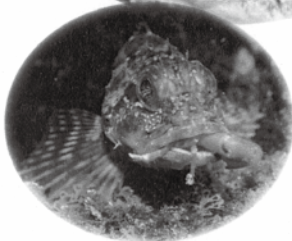


紹介動画を
是非ご視聴ください

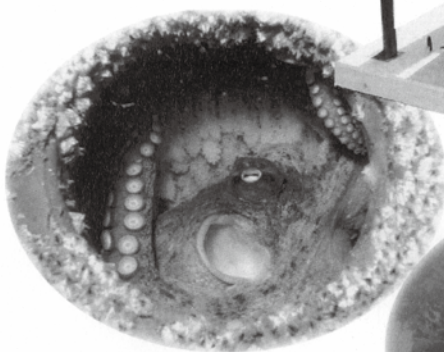
貝殻がエビ・カニなど小型生物の生息場となり、
魚を育て、海を豊かにします。



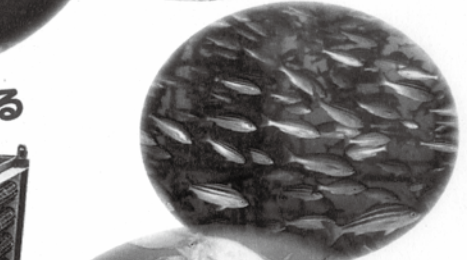
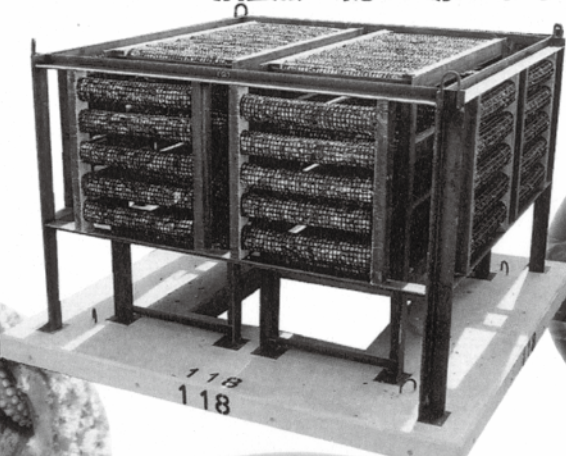
幼稚魚の隠れ場になる



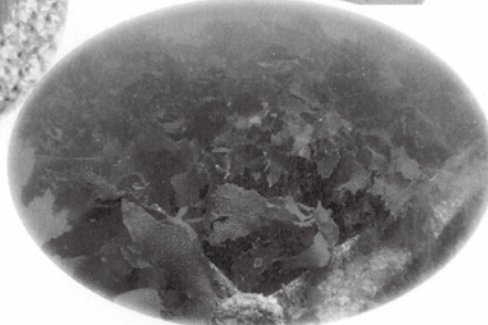
エサがよく付く



産卵場になる



様々な魚が集まる



海藻が付きやすい構造



漁業者による基質製作



再生材料を使用 88%
国産品 47 131 008
品 名 シェルナース基質
販売会社 海洋建設株式会社



各種エコ製品として
認定されています

【JF シェルナースのお問い合わせ先】

全国漁業協同組合連合会 資材課
海洋建設株式会社

☎03-6222-1325

<https://www.zengyoren.or.jp>

☎086-473-5508

<http://www.kaiyoh.co.jp>

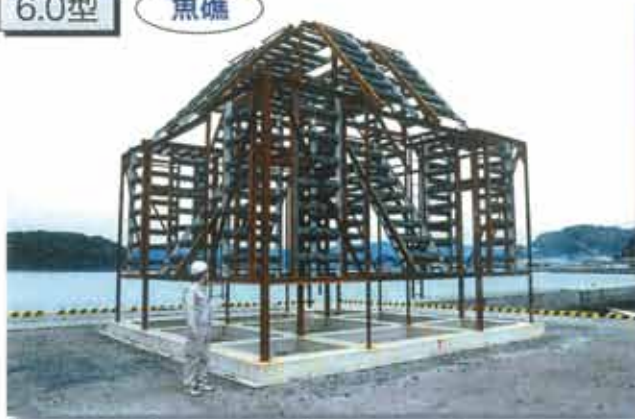
目的に合わせて組み合わせ自由自在。バリエーションが豊富です。

2.2型 増殖礁



寸法 (m)	空容積 (空 m³)	空中重量 (tf)	餌料培養体積 (m³)
3.4×3.4×2.2	20.4	7.4	1.6 (120 本)

6.0型 魚礁



寸法 (m)	空容積 (空 m³)	空中重量 (tf)	餌料培養体積 (m³)
7.7×7.7×6.9	314.8	25.7	3.5 (261 本)

JFシェルナースマップ

2023年度までの実績

都道府県数 : 36 (メキシコ含む)
採用基数 : 16,846基
貝殻使用量 : 約9,950 t
設置水深 : 1~280m

メキシコで採用されました！



シェルナース サイコロ型



シェルナース 1.5 型



シェルナース
幼稚魚保護育成礁



シェルナース 10.0 型



シェルナース 4.0 型



シェルナースイセエビ型



シェルナース 1.0 型



シェルナース 2.7 型



シェルナースタコ型



【主な採用事業】

水産環境整備事業（魚礁、増殖場、藻場造成）、防衛省・国土交通省・経済産業省・環境省・文部科学省・外務省などの地元水産振興対策、地方自治体の単独補助事業等

令和6年9月25日

〈発行〉青森県漁業協同組合連合会 青森市安方一丁目1番地32号 TEL017-722-4211(代)
〈印刷〉ワタナベサービス株式会社